

新型対向スピーカ



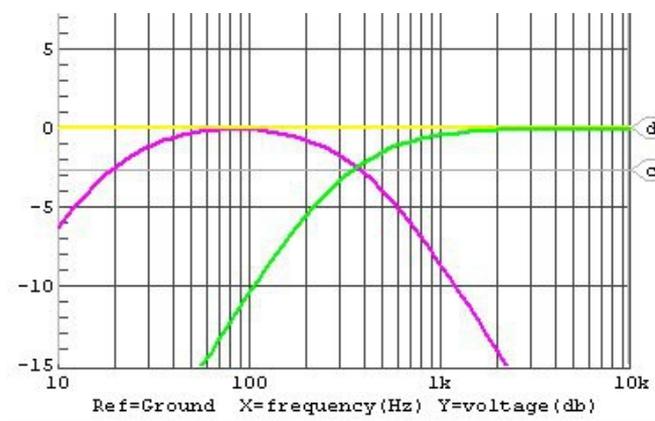
先月に続いて内蔵型の対向スピーカを作ってみました。今回のユニットは先月の中田さんと同じ ScanSpeak の 18cm ウーファ 18W8545 を使用しています。

エンクロージャは 33cm 外径のボイド管を使用、形式は密閉です。仕上げは特急で雑なのであまり細かくは見ない様に。

それだけではつまらないので今回はウーファは AMFB (Acoustic Motional Feedback) を掛けてみました。そのままでは低域は 20Hz フラットにブーストされてしまいますので、わずかに低域を絞っています。

高域は昨年 11 月に発表した PARC の 8cmPP コーンフルレンジ DCU-F081PP の対向配置を今度は本命の 3886 電流アンプで駆動しています。

分割は CR1 段フィルターによる -6dB の簡易マルチで、クロス周波数は約 350Hz です。



18cm ウーファだと低域も大分余裕が出ますが、それでも密閉をかなりブーストとすることになりますので、音量を上げると少し苦しいかも。

それでも MFB のかかった低域の切れの良さと、高域の電流駆動フルレンジの特徴が合って面白い音になっている様に思います。